



ヒいたくん

Safety Mail

● 滋賀県警察本部交通企画課 ●

県内の交通事故発生状況

《平成29年10月末現在の人身事故》

	件数	死者	傷者
本年	3,966	44	5,056
前年	4,265	43	5,343
増減	-299	+1	-287

〈高齢者の事故〉

※高齢者…65歳以上をいう



	件数	死者	傷者
本年	1,096	21	663
前年	1,167	21	685
増減	-71	±0	-22

10月末現在の交通事故は、前年と比べて発生件数と傷者は減少しています。しかし、交通死亡事故が8月以降増加し、10月末現在の交通事故死者は44人(前年比+1)となっています。

例年、年末にかけて交通事故が増加傾向にあります。ドライバーの皆さんは、心に余裕を持って慌てず、焦らず、いつも以上に注意して運転しましょう。

危険を予測し、心に余裕を!

交差点での出会い頭事故に注意!

◆ 見通しの良い交差点 ◆



見通しの良い交差点では、速度の出し過ぎに注意しましょう。

交差点に進入する時は、相手車両が停止するだろうと思込まず、相手車両は停止しないかもしれないと考えて速度を落とし、左右の安全確認をしっかりとしましょう。

◆ 見通しの悪い交差点 ◆



見通しの悪い交差点では、子供や自転車などの飛び出しがあるかもしれないと予測し、速度を落として車がすぐに停止できる速度で走行しましょう。

いつも歩行者も車も通行していないなどの思い込みは危険です。

必ず左右の安全確認を忘れずに!



12月1日(金)～12月31日(日) 年末の交通安全県民運動 ～ 言いたいね 湖国自慢は「事故ゼロ」と～

運動の重点

① 高齢ドライバーを含む高齢者と子どもの交通事故防止



県内の交通事故死者の約半数を65歳以上の高齢者が占めています。

車を運転するときは、子供や自転車の飛び出し、無理な横断などが無いかと危険を予測して安全運転に努めましょう。



② 夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の安全確保 (特に、歩行者の反射材着用の推進及び自転車の前照灯点灯の徹底)



夜間における対歩行者・自転車事故を防ぐには、どれだけ早く相手を発見することができるかが重要です。

早めのライト点灯で相手に車の存在を知らせることとハイビームのこまめな切替えて周囲の危険な情報をいち早く発見しましょう。

夕暮れ時と夜間の反射材の着用と自転車のライト点灯を徹底しましょう。

③ 全席シートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底

今年10月末までの自動車乗車中の死者16人のうち、シートベルト非着用は9人でした。そのうち、7人はシートベルトを着用していれば、助かった可能性があります。

車に乗れば、運転者はもちろん、同乗者も必ずシートベルトを着用しましょう。また、6歳未満の子供には正しい方法で体格に合ったチャイルドシートを使用しましょう。



④ 飲酒運転の根絶



飲酒運転は犯罪です。

車の運転者だけではなく、飲酒運転の車両への同乗者、飲酒運転者への車両提供、酒類提供も処罰の対象となります。

年末にかけて飲酒の機会が増えますが、飲酒運転を「しない・させない・許さない」環境づくりに努めましょう。

事業所内に掲示するなど、多くの方々にご覧いただけるようご協力ください。

TEL 077-522-1231 (代表) Eメール x0022@police.pref.shiga.jp